

4-1.公共交通の現状と課題

富山市における各モードの現状

現状を踏まえた課題

JR高山本線

- ・通学利用は多いが、通勤利用は限定的
- ・平日昼間(9時～16時)、休日利用は低調
- ・運行本数や交通結節点の機能強化(バスとの連携充実)等の意見有
- ・シニアおでかけきっぷを販売
- ・JR高山本線の駅勢圏下において、自家用車利用率が高い(約7割)
- ・パーク&ライド駐車場の利用率が高い(速星駅・婦中・鵜坂駅・千里駅)
- ・増便の社会実験後も継続して増便運行
- ・改善ニーズとしては、増便運行、運賃割引等の割合が高い
- ・越中八尾～猪谷間を中心に増便に関する意見が多い
- ・ICカード決済が未導入
- ・駅舎の反対側からアクセスしづらい駅が存在

運行本数の少なさ
(主に郊外・中山間部)

パーク&ライド駐車場の不足

他の交通との乗り継ぎ環境の悪さ(一部駅)

キャッシュレス未対応

駅へのアクセスの悪さ
(一部駅)

あいの風
とやま鉄道

- ・ピーク時3本/時以上の運行頻度が確保されるも、昼間の運行本数がやや少ない
- ・高齢者を対象とした運転免許返納者への割引制度(通常料金の半額)を実施している
- ・駅構内へのエレベーター未設置の駅が存在
- ・改善要望事項としては、増便運行、パーク&ライド駐車場の整備の割合が高い
- ・駅改札の反対側からのアクセスしづらい駅が存在

運行本数の少なさ(昼間)

バリアフリー未対応
(一部駅)

駅へのアクセスの悪さ
(一部駅)

富山地方鉄道
鉄道線

- ・中心部(本線)の運行本数は比較的多いが、郊外部は少ない
- ・利便性向上に向けてダイヤの見直し、増便(不二越・上滝線)などを実施
- ・パーク&ライド駐車場の利用率が高い(月岡駅)
- ・改善要望事項としては、増便運行、パーク&ライド駐車場の整備の割合が高い
- ・南富山駅での路面電車への乗り継ぎ環境に課題がある

運行本数の少なさ
(主に郊外部)

パーク&ライド駐車場の不足

路面電車との乗り換え環境の悪さ(南富山駅)

路面電車

- ・南北接続により、全長約15kmのネットワークが完成(利便性の大幅な向上)
- ・全体的に満足度は高いが、停留場上屋の設置に対する要望が多い
- ・富山港線はパーク&ライド駐車場の利用率が高く、増設に関する要望も多い
- ・一部停留場はバリアフリー化が未対応

停留場上屋の未整備
(一部停留場)

バリアフリー未対応
(一部停留場)

パーク&ライド駐車場の不足

4-1.公共交通の現状と課題

はじめに

第1章

1. 市の概況

2. 交通の現状

3. 公共交通に関する
市民意識調査

4. 各公共交通の課題

第2章

1. 基本方針と目標

2. 目標を達成するための
施策

3. 計画の達成状況の評価

富山市における各モードの現状

現状を踏まえた課題

路線バス

- ・富山駅を中心に路線バスのネットワークが放射状に形成
- ・運転手の不足・高齢化が顕在化している
- ・運行本数の多い路線も存在するが、郊外部など少ない路線も存在する
- ・市民意識調査では、最も利用されている公共交通は路線バスと回答されているが、モードとしての満足度は低く、改善要望事項も多い
- ・改善要望項目としては、増便運行、終発時間、定時性、バス停の待合環境の改善、パーク&バスライド駐車場の整備、運賃の割合が高い
- ・利便性、快適性の向上のため、上屋付バス停の整備、ノンステップバスの導入、バスレーン(専用・優先)設置、パーク&バスライド駐車場・サイクル&バスライド駐輪場の設置、とやまロケーションシステムを導入

運行本数の少なさ
(主に郊外・中山間部)

運転手不足・高齢化

終バスの早さ(運行時間)

停留所上屋の未整備
(一部停留所)

パーク&バスライド駐車場の不足

他モードとの接続の悪さ
(一部停留所)

地域自主運行バス

- ・まいどはやバスの利用者は大きく減少し、改善要望が多い
- ・フィーダーバスは、平成29年度以降利用者が著しく減少
- ・呉羽いきいきバスの朝及び冬季の混雑
- ・堀川南地域コミュニティバス、婦中コミュニティバスの1便当たりの平均利用者数は1名以下

ニーズにあったサービスの未提供

利用者ニーズへの未対応
(停留所、運行本数)

不透明な持続性

市営
コミュニティバス

- ・利用者数の多い路線と少ない路線の差が大きい
- ・少ない路線は、1便当たりの平均利用者数が2人未満
- ・運転手の不足・高齢化が顕在化

ニーズにあったサービスの未提供

運転手不足・高齢化

乗合
タクシー

- ・平成22年度以降、利用者が大きく減少(令和4年度は回復傾向)
- ・配車拠点が市中心部に立地しているため、配車に時間を要する
- ・担い手の不足など事業への懸念あり

非効率な事業体制

運転手不足・高齢化

その他
公共交通関連

- ・中山間地域は、タクシー待機場所が無い箇所が存在
- ・福祉有償輸送の利用は、減少傾向、特定の事業者を利用が偏っている
- ・公共交通空白地域(鉄軌道・路線バスから750m以上)の人口割合は減少傾向も、依然として、公共交通空白地域が残っている
- ・運転免許証返納者をはじめとした、高齢者の移動手段の確保に関する意見が多い
- ・多様なニーズへの対応が必要という意見や、行政の関与に肯定的な意見が多い
- ・将来(10年後)の移動に不安がある人は、過半数を上回る

中山間地域での公共交通の不足

キャッシュレス等の新たな決済手段の未対応

公共交通空白地域の存在

4-2.課題の整理

富山市の各モードの課題をもとに、公共交通の課題を以下に整理しました。

